

肝臓の部分切除手術を受けられる方へ

入院診療計画書

作成日:

ID				患者様名				病名	☐ 肝細胞癌 ☐			特別な栄養管理の必要性	● 無 ○ 有			★退院指導★								
看護師				薬剤師				栄養士				症状	☐ 特になし ☐			リハビリ計画	☐ 無 ☒ 有			外来診察担当医				
理学療法士								手術日				時				総合的な機能評価	問題なし			()				
日付																	～			～	外来診察日			
経過	入院1日目	入院2日目	手術前日	手術前	手術後			術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	～ 術後8日目	術後9日目以降 (退院日予定)	20		年					
目標	疑問があれば質問することができる			痛みが最小限で安楽に過ごすことができる			術後歩行ができる			傷の観察ができる			日常生活に戻ることができる											
点滴	ありません			手術前の点滴 有 ・ 無 ()時に 指示のある薬のみ 少量の水で内服 有 ・ 無	以降持続的に点滴があります			食事量にあわせて点滴を減らします			医師の指示により点滴終了です													
内服	持参薬は 医師から指示がある薬のみ 内服してください			抗凝固薬・糖尿病薬は 医師の指示にて中止です 寝る前に下剤を渡します			ありません			医師の指示により内服薬が開始となります 指示があるまで服用しないでください			抗凝固薬や血糖降下薬等は 医師の指示にて再開となります			検査内容 ()								
検査	ありません						採血とレントゲン があります			採血があります			採血とレントゲン があります			ありません			採血と レントゲン があります	ありません	予定日			
処置	感染予防のために、臍をきれいにします			ありません			心電図モニター・酸素・ 下肢に深部静脈血栓予防の 機械をつけます (手術後経過をみながら 外します)			体温や血圧測定を 行い、傷の観察を 行います			昼頃に心電図の モニターを外します			適宜、体温や血圧測定を行い、傷の観察を行います お腹に管が入ってきた場合は管からの排泄の性状・量の観察を行います 状態をみて、医師がお腹の管を抜きます								
活動	制限はありません			手術着へ着替え、弾性 ストッキングを履きます (弾性ストッキングは 入院時に お渡しします)			ベッド上での安静です 体勢の変更は可能です ご希望の際はナースコール でお知らせ下さい			リハビリが 始まります 積極的に離床 しましょう 最初は看護師が 付き添い歩行します			日常生活を取り戻すため適度に運動、 散歩などしましょう 体を動かすこと(離床)により腸閉塞や 深部静脈血栓症や感染などの予防になります						退院時のお薬 有 ・ 無					
食事	手術前日の夕食を食べた以降は絶食です () 時まで お茶・水、スポーツドリンクを500ml飲んで下さい 糖尿病がある方はお水で代用します			水分は () 時から 中止です			絶食です			医師の指示のもと 飲水が開始です 昼から、濃厚流動食 が開始です			主治医の許可があれば 全粥から始まります			段階的に 食事形態が変わります			徐々に普通食へ戻していきます			次の症状に注意		
清潔	手術前日はシャワーに入ります ご自宅でもシャワーか入浴をすませて ご来院下さい 歯をきれいに磨いて下さい			歯磨きをして下さい			うがいは可能です お手伝いします			体を拭きます			お腹の管がある場合はシャワーに入れません 身体を拭いたり、洗髪を行います			お腹の管が抜ければシャワー浴が可能です 傷は優しく泡で洗いましょう(初回は看護師が説明します) 毎日洗うことで治りが早くなり、傷からの感染の予防になります			定期的に排便があるよ う心がけて下さい					
排泄	制限はありません			トイレをすませて 下さい			手術中に尿の管が入ります 翌日、歩行ができれば 抜く予定です			医師の許可が出れば尿の管を抜きます その後に痛みや血尿 尿の出にくさがあればお知らせ下さい			離床してお腹が動き始めることでガスや便が出始めます 排便が3日以上ない場合や下痢が続く場合は 医師と相談しますのでお知らせ下さい						下痢便が続く際は こまめに水分を摂取 しましょう					
指導	分からないことや不安なことがあれば 遠慮なく看護師にご相談下さい			看護師が手術室に ご案内します ご家族は 手術開始予定の 30分前に 病棟にお越し下さい			痛みは我慢せず お知らせ下さい 点滴の痛み止めがあります ※要望がある際は 遠慮せずにナースコールを 押して下さい			体を動かすこと(離床)は 術後合併症の予防になります 痛みは鎮痛剤でコントロールし 積極的に離床しましょう			食事はゆっくりよく噛み、時間をかけて食べて下さい 食事は全量摂取しなくても構いません お腹の症状が出現すれば中止して下さい 食後、冷や汗・吐き気・震えなどあればお知らせ下さい			栄養士より 栄養指導があります (ご家族も同席できます)			食事が全く摂れない 嘔吐が続くという場合は 早めに受診 して下さい 上記の症状があれば 下配に相談して下さい					
説明	麻酔科医や手術室看護師、ICU看護師からの 説明があります 外来で渡された手術や麻酔の同意書にサインを行い ご提出して下さい その他の書類もご提出をお願いします			指輪・時計・入れ歯・ コンタクト・ヘアピン・ 湿布類は外して下さい 化粧・マニキュアは 落として下さい 長髪は束ねて下さい			術後はICUへ行きます お腹の管や点滴があるため 転倒しやすくなります 管が絡まないように適宜整理します 初回の歩行時は看護師が付き添います			点滴の痛み止め終了後は 内服薬で痛み止めを用意しています 痛みや治療に対して 不安がある場合は相談して下さい			退院後も傷の痛みは残る場合があります 痛みが日ごとに軽減していれば 問題はありません			平日午前中の退院です 清算・次回受診日については 当日午前中に事務員が 病室へ伺い説明致します			緊急連絡先 072-469-3111 平日8:45～17時 Bブロック それ以外は救急外来					

※上記内容は現時点で考えられるものであり、今後変わり得る場合があります。 ※何かある時には遠慮せずにナースコールを押して下さい※ りんくう総合医療センター 8海病棟 作成：2015.06 改訂：2025.09

説明日: 20 年 月 日 主治医(説明医): (署名もしくは捺印)

完成後はコピーを1部取り、病棟用ファイルに入れ、原本を患者様にお渡し下さい。 本人/家族等: 続柄: